

はじめに

多くの生徒は「レポート作成」にとっても苦労しています。

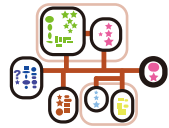








それらの苦労にはさまざまなケースがあります……テストの点数が良いのでレポートはあまり意味がないと思って適当に切り貼りして書いて出した。余裕でいけると思っていたけど、課題範囲が広すぎてテーマが決まらず、結局前日に始めていかげんに書いて出した。盛り込みたいことは分かっているはずなのにうまくまとめられず……友達に読んでもらった「なに書いてるのか分からない」と言われた。すごく情報を集めたのに肝心なところが抜けていると指摘されてガックリ。半分以上書いた段階で「論理に矛盾がある」と言われてやり直し。テーマを最初に決めたけど、何となく気に入らず、途中で「こっちのが良い」と思ってテーマを変えたら最後にまとまらなくて撃沈した。文を書くのが大好きなので「序章」だけかっこよく書いてみた。でも、その後がまとまらず「序章だけだね」と言われた。作文は得意なので2日で間に合うと思っていたけど、課題範囲の関係性が複雑すぎて徹夜でも全然間に合わず泥沼にはまった。とにかく毎回時間がかかっていつもクタクタ。

これらの一見雑多なケースを見直し、おおもとを辿ってみると根は意外に単純のようです。生徒たちは「これさえ覚えれば100点～穴埋め」的な反射的な問題については、たくさん解いてきて慣れてしています。しかし、自分の力で、課題を設定し、情報を集め、構造を分析し、論理的にまとめ上げる「レポート作成」という、粘り強さを求められる一連の作業では初心者に近いのです。同じく先生たちもそれを教えることには慣れていません。

この冊子では、複雑に見えるレポート作成の全体像が見える化しました。また、「レポート作成でうまくいかないケース」を8つ取り上げ、生徒たちの得意技を

最大限に使いながら **チェンジ!!** することで **グッドジョブ!!** になるような提案をしています。この冊子をお役立ていただき、レポートを楽しく、深く、有意義に **チェンジ!!** してください。

もくじ

		
	レポート作成の全体像	…4
ケース1	意味不さん レポートなんて意味ないよ 	…6
ケース2	始めないさん まだまだ余裕2日で書ける 	…8
ケース3	コツコツさん 範囲広すぎ 手がつかず 	…10
ケース4	心配さん これだけ集めて まだ不安? 	…12
ケース5	あるべきさん 私の筋が絶対だ 	…14
ケース6	細かすぎさん 筋つかめない まとまんない 	…16
ケース7	ひらめきさん ひらめきすぎて破綻する 	…18
ケース8	流されさん 文が湧き出し文字数アウト 	…20
	あとがき	…22